

【様式 1－1】

秩父別町 橋梁個別施設計画

令和 4 年 9 月

(令和 7 年 8 月 様式 1-1 改定)

秩父別町 建設課

1. 橋梁個別施設計画の背景・目的

1) 背 景

秩父別町が管理する道路橋は、全 49 橋（橋梁個別施設計画における策定数は全 49 橋）あり、その大半は高度経済成長期（1955 年～1973 年）以降に建造されてきたものとなっています。このうち、建設後 50 年を経過する高齢化した橋梁数の割合は、現在のところ全体の約 18% 程度であり、20 年後には、この割合が約 40% を占め、高齢化した橋梁が急速に増大するという調査結果が得られています。これにより、多くの橋梁では、経年劣化に伴う損傷や不具合が発生する可能性が増え、それらは交通の安全を脅かすことにつながっていきます。

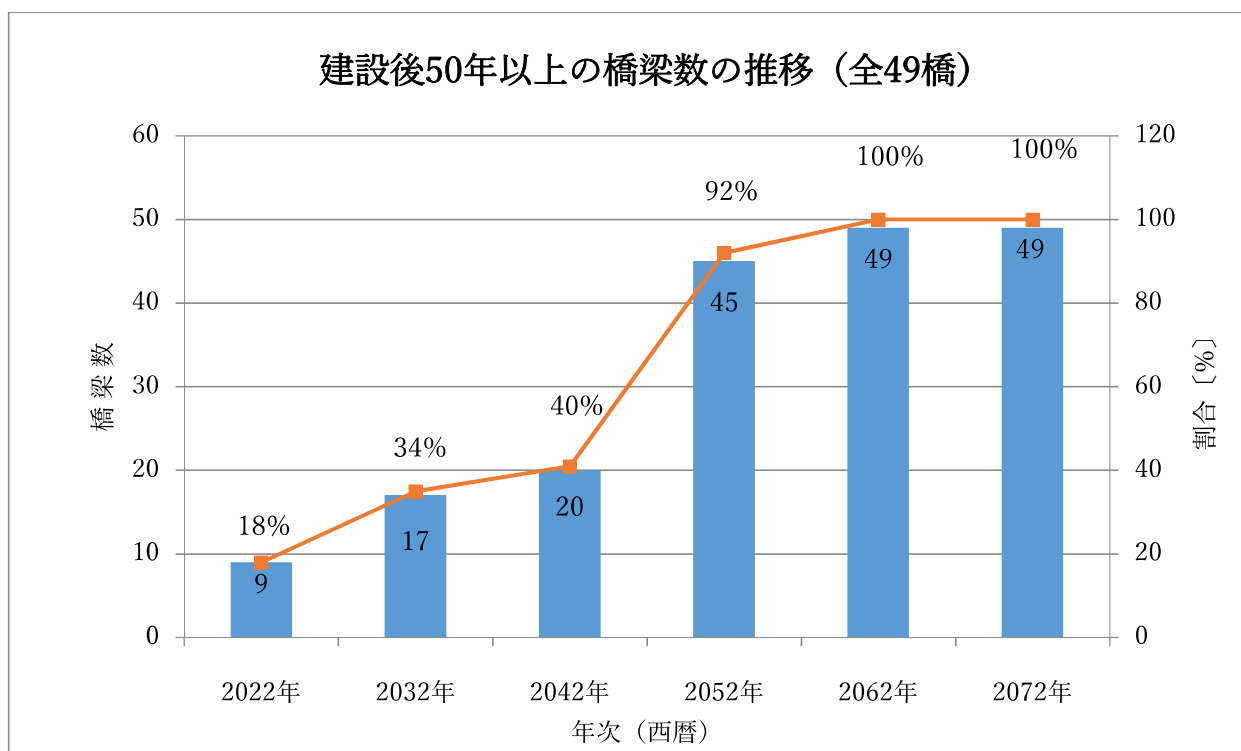


図1 秩父別町における建設後 50 年以上の橋梁数の推移

2) 目 的

今後の目的としては、高齢化する橋梁の増大に対し地域の道路網の安全性、信頼性を確保しつつ、これまでの事後保全的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換を図り、長寿命化によるコスト削減を図る。

また、橋梁点検及び橋梁個別施設計画の方針、修繕優先順位の考え方等を体系的に整理し、計画的管理を導入することで、必要予算の平準化を図り、将来の大きな財政負担を緩和させる。

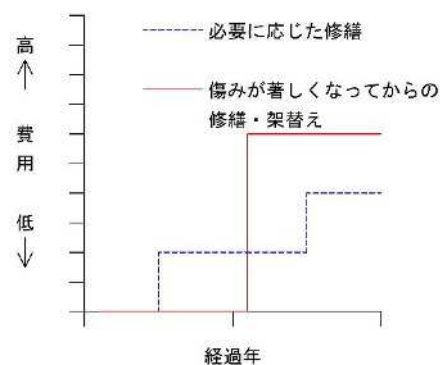


図2 必要に応じた修繕のイメージ

2. 橋梁個別施設計画の対象橋梁

	1 級町道	2 級町道	その他町道	合 計
全管理橋梁数	7	17	21	49
うち計画策定対象橋梁数	7	17	21	49
うち R4 年度計画策定橋梁数	7	17	21	49

3. 健全性の把握及び日常的な維持管理に関する基本的方針

1) 健全性の把握の基本的な方針

- 橋梁個別施設計画に基づき、5 年毎に全 49 橋の近接目視点検（法定点検）を行う。
- 点検結果に基づき、健全度の確認、修繕計画の修正を実施する。

2) 日常的な維持管理に関する基本的な方針

- コンクリート等の痛みを減らす為、春には排水管の土砂撤去を実施する。
- 結氷による痛みを減らす為、秋には排水管の枯れ葉除去を実施する。
- 修繕が必要な箇所は、適宜修繕を実施する。
- 大雨や、洪水、地震の際は、必要に応じたパトロールを実施する。
- 橋梁に異常が認められた際は、通行止めや修繕等の緊急対策を実施する。

4. 対象橋梁の長寿命化及び修繕・架換えに係る費用の縮減に関する基本的な方針

- 予防的な修繕などの徹底で、修繕・架換えに係る費用の低コスト化を図り、ライフサイクルコストの低減を図る。
- 緊急性の低い劣化部位は、監視対象とすることで支出の縮減を図る。
- 詳細点検結果に基づく橋梁の健全度把握及び損傷状況に応じて橋梁個別施設計画を見直す。

5. 対象橋梁の状態

平成 31 年/令和元年～令和 4 年度に実施された橋梁点検結果における橋梁健全性診断の結果をまとめた。

健全性診断別橋梁数の内訳を下表 1 に示す。

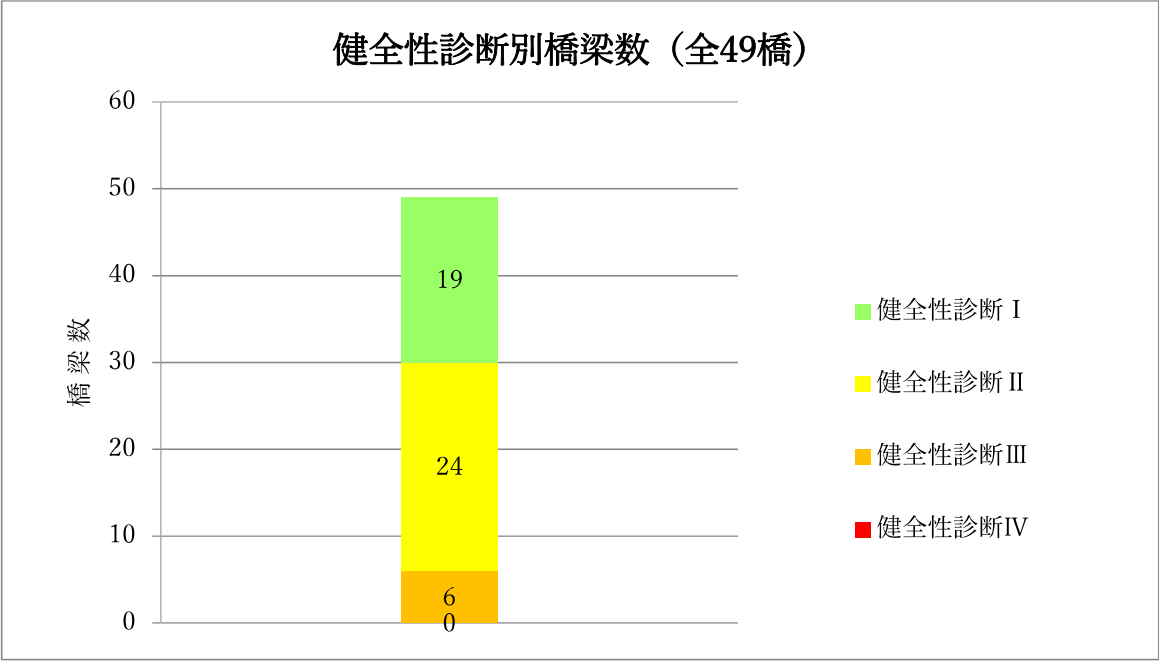


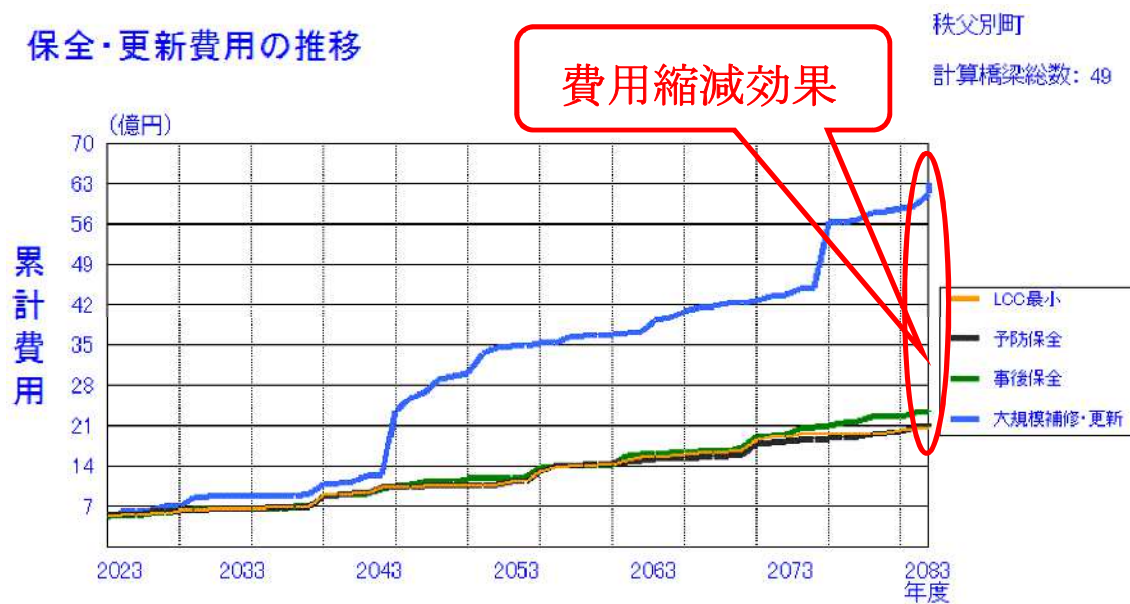
表 1 対象橋梁の状態（健全性診断結果）

6. 対象橋梁の状態及び点検時期、修繕内容・時期

■ 様式 1-2 による。

7. 橋梁個別施設計画の効果

- 今後 60 年の修繕・架替え事業費（予防保全型、大規模補修・更新型）を試算した結果、予防保全型の累計は約 21 億円、大規模補修・更新型の累計は約 63 億円となり、予防保全型の維持修繕を実施することにより約 42 億円（約 70%）のコスト削減効果が期待できる。
- 修繕を計画的に実施することで、町の財政負担の平準化が計られる。



8. 計画策定担当部署

1) 計画策定担当部署

北海道 秩父別町 建設課

TEL : 0164-33-2111

9. 補修優先順位の考え方

維持管理計画策定の基本方針

- ・管理橋梁すべてを対象に、効率的・効果的なメリハリのある管理を実施するために、交通量や環境条件等を考慮した維持管理区分の分類を行う。
- ・損傷程度に応じるとともに、維持管理区分との関係から効率的な管理の実現を目指す。

維持管理区分判定基準

維持管理区分	定義	該当する橋梁条件例
A	<予防維持管理> ・劣化が顕在化した後では、対策が困難なもの。 ・劣化が外へ表れて困るもの。 ・設計耐用期間が長いもの。	・第三者被害を及ぼす可能性のある橋梁 ・緊急輸送路（歩道橋を除く） ・DIO地区（歩道橋を除く） ・橋長100m以上（歩道橋を除く） ・主要な市町村道（歩道橋を除く） ・交通量1,000台/12h以上（歩道橋を除く） ・恒常影響地域（歩道橋を除く）
B	<事後維持管理> ・劣化が外に表れてからでも対策が可能なもの。 ・劣化が表へ表れても機能に影響しないもの。	・維持管理区分A以外で橋長15m以上
C	<観察維持管理> ・使用できるだけ使用すればよいもの。 ・第三者影響度に関する安全性を確保すればよいもの。	・維持管理区分A以外で橋長15m未満 ・第三者被害を及ぼす可能性のない歩道橋

秩父別町 維持管理区分の決定根拠

維持管理区分	管理水準	グループ	定義、条件等	橋 梁 名	数
A	1種	①	第三者被害の可能性がある橋		0
	2種	②	橋長100m以上の橋	穂栄橋	1
			緊急輸送路(歩道橋除く)	—	0
			DID地区(歩道橋除く)	—	0
	3種	③	交通量1,000台/12h以上	—	0
			主要な町道(1級町道-歩道橋除く)	—	0
			塩害影響地域(歩道橋除く)	—	0
B	3種	④	管理区分A以外の15m以上	5号橋、東102号橋、102号橋、202号橋、402号橋、南13号橋、42号橋、52号橋、81号橋、6号橋、3号橋、日の出橋など	15
C		⑤	管理区分A以外で15m未満	東200号橋、東101号橋、401号橋、502号橋、602号橋、南21号橋、南22号橋、11号橋、12号橋、南12号橋、南15号橋、42号橋、62号橋、82号橋、1号橋、8号橋など	33

49橋

- グループ①： 劣化損傷が顕著化する前に予防保全的対策を行うことが望ましい。
- グループ②： 予防保全的対策により長寿命化を計りLCCの最小化と工事に伴う社会的影響(外部不経済)の低減が可能となる。
- グループ③： ②と同様予防保全的対策を行うことが望ましい。塩害に対しても予防保全が効果的となる。
- グループ④： 劣化が顕著化した段階で、事後保全的対策を行い、それ以上の性能低下を防ぐものとする。
- グループ⑤： 積極的な対策を行わず、使用できるだけ使用し寿命段階で大規模補修あるいは更新を行うものとする。

補修補強の優先順位付け

橋梁マネジメントシステムでは、以下に示す手順に基づき、補修補強の優先順位付けを各橋梁の部材単位(径間毎)で行っている。

点検健全度		維持管理区分		
		A	B	C
5	良	—	—	—
4	↑ ↓	—	—	—
3		⑥予防保全	⑧予防保全	⑨予防保全
2		④事後保全	⑤事後保全	⑦事後保全
1		①大規模補修・更新	②大規模補修・更新	③大規模補修・更新

- ※ ○内の数字が優先順位
- ※ 維持管理区分Aの⑥予防保全を維持管理区分Cの⑦事後保全より優先している。

図3 優先順位の考え方

橋梁個別施設計画の見直し条件

① 橋梁定期点検について

今後 10 年間の修繕計画の中で、管理橋梁の定期点検を 5 年毎の周期で実施するものとし、実施年を 2024 年（令和 6 年度）、2025 年（令和 7 年度）、2026 年（令和 8 年度）、2027 年（令和 9 年）2029 年（令和 11 年度）、2030 年（令和 12 年度）、2031 年（令和 13 年度）、2032 年（令和 14 年度）に設定する。

② 健全度把握について

点検結果の損傷判定等から健全度を判定・把握する。

③ 修繕計画の立案について

健全度に基づき、低コストかつ長寿命化を図れる最適な修繕計画を立案する。
また、点検結果に基づく健全度および損傷状況に応じて修繕計画を見直す。

④ 対策実施について

管理橋全橋に対して策定した橋梁個別施設計画に基づいて、順次修繕を実施する。

⑤ 記録の保存について

点検および修繕記録は、橋梁台帳や点検調査票等に記入し、電子データとして保存する。

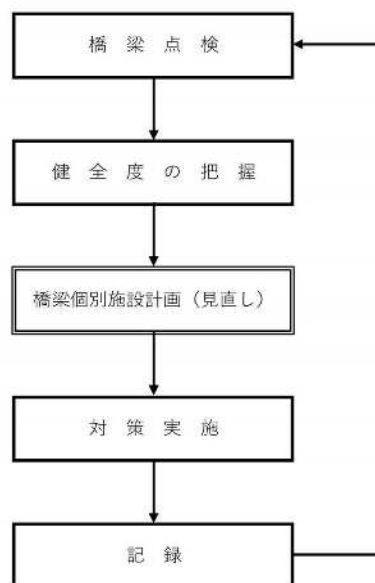


図 4 橋梁管理の流れ

10 今後の取組み

維持管理の更なる高度化、効率化を目指して、以下の取り組みを行う。

1) 集約化・撤去

全体の計画

管理する 49 橋のうち約 1 割程度について、施設の撤去に伴う迂回路整備や、機能縮小、複数施設の集約化を検討する。

短期の数値目標

令和 11 年度までに 1 橋程度の集約化・撤去を検討し、約 2 百万円のコスト縮減を検討する。

2) 新技術等の活用

全体の計画

管理する 49 橋のうち、約 1 割の橋梁で新技術の活用を目指す。

短期の数値目標

過去に定期点検で橋梁点検車等を使用した橋梁については、新技術の活用を重点的に検討し、令和 11 年度までの 5 年間で約 1 百万円のコスト縮減を目指す。修繕工事においても、全ての橋梁で設計段階から新技術の活用を含めた比較検討を行い、コスト縮減を目指す。

3) 費用の縮減

全体の計画

令和 11 年度までに管理する 49 橋のうち、橋長が短く構造が単純な橋については直営点検の実施を目指す。

短期の数値目標

当町においては 1 割程度を直営点検する予定があることから、全体の費用から約 1 割程度縮減することを目標とする。

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	修繕 計画	対策の内容・時期・事業費(百万円)										
								2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)
5号橋 0010 健全性診断区分：Ⅰ 維持管理区分：B 東200号橋 0020	その他	東山西路線 0002	16.3	1972	51	2021	対策 内容					定期点検3-C					定期点検4-C	
			径間数 1															
健全性診断区分Ⅱ 維持管理区分：C 東101号橋 0030	その他	東2丁目路線 0003	2.8	1970	53	2019	対策 内容			定期点検3-A				定期点検4-A				
			径間数 1															
健全性診断区分：Ⅰ 維持管理区分：C 東102号橋 0040	2級	東1丁目路線 0004	4.1	2000	23	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B		
			径間数 1															
健全性診断区分：Ⅱ 維持管理区分：B 101号橋 0050	2級	東1丁目路線 0004	17.6	1997	26	2019	対策 内容			定期点検3-A				定期点検4-A				
			径間数 1															
健全性診断区分：Ⅰ 維持管理区分：C 102号橋 0060	1級	1丁目路線 0005	3.6	2011	12	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B		
			径間数 1															
健全性診断区分：Ⅱ 維持管理区分：B 202号橋 0070	1級	1丁目路線 0005	36.8	2000	23	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B		
			径間数 1															
健全性診断区分Ⅱ 維持管理区分：B 301号橋 0080	その他	2丁目路線 0006	44.8	1998	25	2021	対策 内容					定期点検3-C					定期点検4-C	
			径間数 1															
健全性診断区分Ⅲ 維持管理区分：B 401号橋 0090	その他	3丁目路線 0007	45	1972	51	2021	対策 内容	←-----> 【床版】ひび割れ注入工、断面修復工【主桁】全面塗装塗替え工 【支床】省座モルタル打替え工【伸縮装置】伸縮装置取換え工(排水管のみ) 【地震・防護柵】地震部分補修工・防護柵塗装替え工・防護柵部分補修工				定期点検3-C				定期点検4-C		
			径間数 2															
健全性診断区分：Ⅰ 維持管理区分：C 402号橋 0100	その他	4丁目路線 0008	8	1971	52	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B		
			径間数 1															
健全性診断区分：Ⅰ 維持管理区分：B 502号橋 0110	その他	4丁目路線 0008	23.6	2000	23	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B		
			径間数 1															
健全性診断区分Ⅱ 維持管理区分：C 602号橋 0120	1級	5丁目路線 0009	11.6	2000	23	2019	対策 内容			定期点検3-A				定期点検4-A				
			径間数 1															
健全性診断区分：Ⅰ 維持管理区分：C 801号橋 0130	その他	6丁目路線 0010	14.7	2000	23	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B		
			径間数 1															
健全性診断区分Ⅱ 維持管理区分：C 南21号橋 0140	その他	8丁目路線 0012	10.5	1975	48	2019	対策 内容			定期点検3-A				定期点検4-A				
			径間数 1															
健全性診断区分Ⅲ 維持管理区分：C 南22号橋 0150	その他	南2条路線 0014	7.5	1967	56	2020	対策 内容				定期点検3-B		←-----> BOXへ架換え			定期点検4-B		
			径間数 1															
健全性診断区分Ⅲ 維持管理区分：C 南23号橋 0160	その他	南2条路線 0014	7.1	1967	56	2020	対策 内容				定期点検3-B		←-----> BOXへ架換え			定期点検4-B		
			径間数 1															
健全性診断区分Ⅱ 維持管理区分：C 南24号橋 0170	2級	南2条路線 0014	6.3	1985	38	2019	対策 内容			定期点検3-A				定期点検4-A				
			径間数 1															
健全性診断区分Ⅲ 維持管理区分：B 南25号橋 0180	1級	南2条路線 0014	38.4	1972	51	2021	対策 内容			←-----> 【床版】橋面防水工・舗装打換え工、断面修復工 【橋台】断面修復工・ひび割れ補修工 【支床】支床取換え工 【伸縮装置】伸縮装置取換え工	←-----> 定期点検3-C						定期点検4-C	
			径間数 2															
健全性診断区分：Ⅰ 維持管理区分：C	1級	南25号橋 0014	3.7	2001	22	2021	対策 内容					定期点検3-C					定期点検4-C	
			径間数 1															

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

橋梁名	道路 種別	路線名	橋 (m)	架設 年度	供用 年数	最新 点検 年次	修繕 計画	対策の内容・時期・事業費(百万円)										
								2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)
南26号橋 0190	1級	南2条路線 0014	14.1	1973	50	2019	対策 内容			定期点検3-A					定期点検4-A			
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:C			径間数 1															
11号橋 0200	2級	1条路線 0015	4.4	2000	23	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B		
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:C			径間数 1															
12号橋 0210	2級	1条路線 0015	4.4	2001	22	2021	対策 内容					定期点検3-C					定期点検4-C	
健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C			径間数 1															
13号橋 0220	その他	1条路線 0015	2.85	1981	42	2019	対策 内容			定期点検3-A					定期点検4-A			
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:C			径間数 1															
南12号橋 0250	2級	南1条路線 0017	3.4	1977	46	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B		
健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C			径間数 1															
南13号橋 0260	2級	南1条路線 0017	22	1971	52	2019	対策 内容			定期点検3-A					←-----→ 【支承】支承モルタル打換え工 【伸縮装置】伸縮装置取換え工 定期点検4-A			
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:B			径間数 1															
南14号橋 0270	2級	南1条路線 0017	5.56	1999	24	2021	対策 内容					定期点検3-C					定期点検4-C	
健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C			径間数 1															
南15号橋 0280	2級	南1条路線 0017	4.25	1994	29	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B		
健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C			径間数 1															
南16号橋 0290	2級	南1条路線 0017	3.05	1994	29	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B		
健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C			径間数 1															
南17号橋 0300	2級	南1条路線 0017	21	1996	27	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B		
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:B			径間数 1															
33号橋 0310	1級	3条路線 0019	4.4	2000	23	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B		
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:C			径間数 1															
34号橋 0320	その他	3条路線 0019	5.2	2003	20	2021	対策 内容					定期点検3-C					定期点検4-C	
健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C			径間数 1															
42号橋 0330	2級	4条路線 0020	15.47	2000	23	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B		
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:B			径間数 1															
43号橋 0340	その他	4条路線 0020	7.1	1987	36	2019	対策 内容			定期点検3-A					定期点検4-A			
健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C			径間数 1															
52号橋 0350	1級	5条路線 0021	15.27	2001	22	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B		
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:B			径間数 1															
62号橋 0360	その他	6条路線 0022	7	1970	53	2019	対策 内容			定期点検3-A					定期点検4-A			
健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C			径間数 1															
63号橋 0370	その他	6条路線 0022	5.4	1996	27	2021	対策 内容					定期点検3-C					定期点検4-C	
健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C			径間数 1															
72号橋 0380	1級	7条路線 0023	5.4	1994	29	2021	対策 内容					定期点検3-C					定期点検4-C	
健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C			径間数 1															

【様式1ー2】

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

橋梁名	道路 種別	路線名	橋長 (m)	架 設 年 度	供 用 年 数	最 新 点 検 年 次	修 繕 計 画	対策の内容・時期・事業費(百万円)											
								2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	
81号橋 0390	2級	8条路線 0025	35.2	1996	27	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B			
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:B																			
82号橋 0400	2級	8条路線 0025	9.4	1998	25	2021	対策 内容				定期点検3-C						定期点検4-C		
健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C																			
91号橋 0410	2級	滝の上路線 0035	3.6	1979	44	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B			
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:C																			
1号橋 0420	その他	南山路線 0028	5.3	1976	47	2019	対策 内容			定期点検3-A				定期点検4-A			〈-----〉 【床版】橋面防水工・舗装打換え工 【その他】地盤・防護柵補修工		
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:C																			
6号橋 0430	その他	中山北路線 0031	19.8	1979	44	2021	対策 内容			〈-----〉 【床版】橋面防水工・舗装打換え工、断面修復工 【伸縮装置】伸縮装置取換え工 【橋台】断面修復工			定期点検3-C				定期点検4-C		
健全性診断区分:Ⅲ 維持管理区分:B																			
3号橋 0440	その他	東山路線 0032	19.6	1987	36	2021	対策 内容			〈-----〉 【床版】橋面防水工・舗装打換え工 【伸縮装置】伸縮装置取換え工 【橋台】ひび割れ補修工			定期点検3-C				定期点検4-C		
健全性診断区分:Ⅲ 維持管理区分:B																			
8号橋 0450	その他	東山路線 0032	13.5	1979	44	2019	対策 内容			定期点検3-A				定期点検4-A	〈-----〉 【床版】橋面防水工・舗装打換え工 【伸縮装置】伸縮装置取換え工				
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:C																			
9号橋 0460	1級	市街12号路線 0047	4.4	2000	23	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B			
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:C																			
2号橋 0470	2級	市街14号路線 0049	4.4	2000	23	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B			
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:C																			
東103号橋 0510	2級	東1丁目路線 0004	9.4	1998	25	2021	対策 内容					定期点検3-C					定期点検4-C		
健全性診断区分:Ⅰ 維持管理区分:C																			
21号橋 0520	1級	2条路線 0029	4.3	2003	20	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B			
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:C																			
日の出橋 0530	その他	日の出路線 0084	21	1996	27	2020	対策 内容				定期点検3-B					定期点検4-B			
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:B																			
堤家橋 0499	その他	東1丁目路線 0169	188.5	2005	18	2022	対策 内容	定期点検2-D					定期点検3-D	〈-----〉 【床版】橋面防水工・舗装打換え工				定期点検4-D	
健全性診断区分:Ⅱ 維持管理区分:A																			
● 今後の修繕・架替え事業費(億円)								0.550	0.034	0.100	0.360	0.360	0.150	0.445	0.115	0.070	0.070	0.00	2.25
● 年度別修繕対象橋梁数(工事)								1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	0	11

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 47' 25.26" 141° 58' 41.85"	橋梁ID
5号橋 (フリガナ)ゴゴウキョウ	東山西路線	北海道字秩父別2097-69地先				43.79035,141.97829
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町役場	2021.09.14	秩父別川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計株式会社 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造						
主桁	Ⅰ					
横桁	Ⅰ					
床版	Ⅰ					
下部構造	Ⅰ					
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分) (所見等)

Ⅰ

2020年補修工事実施済み。A1橋台漏水部は補修済みだが、若干漏水が見られる。次回点検注意する。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1972 年	16.3 m	5.5 m
橋梁形式		
鋼溶接 I桁(非合成)橋、逆T式橋台2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 45' 19.12" 141° 58' 47.45"	橋梁ID
東200号橋 (フリガナ)ヒガシニハクゴウキョウ	東2丁目路線	北海道秩父別町字秩父別2104-35				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2019.11.05	桜川幹線用水路	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 本野 道明

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真001,主桁01			
主桁						
横桁						
床版						
下部構造	Ⅱ	漏水・遊離石灰	写真004,下部工02			
支承部						
その他	Ⅱ	路面の凹凸	写真006,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分) (所見等)

Ⅱ

主桁(頂版)にひびわれ、下部工(側壁)に遊離石灰(土砂混入)があるため、状況に応じて監視や対策を検討するのが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1970 年	2.8 m	6.5 m
橋梁形式		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 46′ 30.72″	橋梁ID
			経度	141° 56′ 26.6″	43.77520,141.94072	
42号橋 (フリガナ)ヨウジュウニゴウキョウ	4条路線	北海道字秩父別2045-32地先				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町	2020.10.16	旧秩父別川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工01			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	腐食	写真006,排水装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	橋台にひびわれおよび排水装置の腐食は、予防保全の観点から進行に応じて、監視や対策を検討するのが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2000 年	15.47 m	7.5 m
橋梁形式		
ブレン床版橋、逆T式橋台杭基礎2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 46' 43.23" 141° 58' 11.75"	橋梁ID
東101号橋 (フリガナ)ヒガシヒヤクイチゴウキョウ	東1丁目路線	北海道秩父別町字秩父別2088-12				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2020.10.15	第1幹線用水路	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ				
	横桁					
	床版					
下部構造	Ⅰ					
支承部						
その他	Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)

(所見等)

Ⅰ

主桁(頂版)に遊離石灰、下部工(側壁)目地部に漏水が確認されたが、機能上に問題がなく損傷が軽微なため、経過観察とする。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2000 年	4.1 m	11.5 m
橋梁形式		
RC溝橋(BOXカルバート)、逆T式橋台2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 47' 17.13" 141° 58' 7.45"	橋梁ID
東102号橋 (フリガナ)ヒガシヒャクニゴウキョウ	東1丁目路線	北海道字秩父別2097-23地先				43.78809,141.96873
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町	2019.07.16	秩父別川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 本野 道明

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造						
主桁	Ⅰ					
横桁						
床版	Ⅰ					
下部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工01			
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅲ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)

(所見等)

Ⅱ

橋台にひびわれ、遊離石灰が確認されたが、進行状況に応じて監視や対策検討が望ましい。伸縮装置は将来的に補修検討が望まれる。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1997 年	17.6 m	11.25 m
橋梁形式		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 46′ 58.12″	橋梁ID
			経度	141° 57′ 44.55″	43.78281,141.96237	
101号橋 (フリガナ)ヒヤクイチゴウキョウ	1丁目路線	北海道秩父別町字秩父別2074-34				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2020.10.15	第3幹線用水路	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅰ					
支承部							
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	主桁(頂版)目地部に剥離が確認されたが、損傷が局部的かつ軽微であることから定期点検による経過観察とする。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2011 年	3.6 m	7 m
橋梁形式		
RC溝橋 (BOXカルバート)、逆T式橋台2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 47′ 21.65″	橋梁ID
				経度	141° 57′ 41.6″	43.78934,141.96155
102号橋 (フリガナ)ヒャクニゴウキョウ	1丁目路線	北海道字秩父別2073-25地先				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町	2020.10.15	秩父別川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録				応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容
上部構造	主桁	Ⅱ	防食機能の劣化	写真001,主桁01		
	横桁	Ⅱ	防食機能の劣化	写真002,対傾構01		
	床版	Ⅱ	床版ひびわれ	写真003,床版02		
下部構造		Ⅱ	漏水・滞水	写真004,下部工02		
支承部		Ⅰ				
その他		Ⅱ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01		

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	床版端部にひび割れが発生しているが、橋面防水工を行っているため漏水はほとんど無い。下部工の滞水は、部材損傷がないことから進行に応じて監視や対策を検討するのが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2000 年	36.8 m	10.5 m
橋梁形式		
鋼溶接 I桁(非合成)橋、逆T式橋台杭基礎2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 47′ 42.11″	橋梁ID
			経度	141° 57′ 14.15″	43.79503,141.95393	
202号橋 (フリガナ)ニハクニコウキョウ	2丁目路線	北海道字秩父別2072-52地先				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町	2021.10.12	秩父別川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計株式会社 川森 亮輔

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅱ	漏水・遊離石灰	写真004,下部工01			
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	腐食	写真006,排水装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	鋼桁は局部的に錆があるものの健全である。A1橋台に錆汁を伴う遊離石灰が確認されたが、局部的であり機能上に問題はないため、損傷進行を監視するのが良い。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点  終点
1998 年	44.8 m	7 m	
橋梁形式			
鋼溶接 I桁(鋼床版)橋、逆T式橋台杭基礎2基			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 45′ 10.12″	橋梁ID
			経度	141° 57′ 32.7″	43.75281,141.95908	
301号橋 (フリガナ)サンビヤクイチゴウキョウ	3丁目路線	北海道字秩父別2061-74地先				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町役場	2021.10.12	境川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計株式会社 川森 亮輔

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	腐食	写真001,主桁02			
	横桁	Ⅱ	腐食	写真002,対傾構01			
	床版	Ⅲ	床版ひびわれ	写真003,床版01			
下部構造		Ⅲ	漏水・遊離石灰	写真004,下部工01			
支承部		Ⅱ	腐食	写真005,支承部101			
その他		Ⅲ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅲ	床版に漏水のないひび割れが確認され、下部工に錆汁を伴う遊離石灰が確認された。損傷を監視し状況により対策を検討するのが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1972 年	45 m	5.5 m
橋梁形式		
単純鋼溶接 1桁(非合成)橋×2連、逆T式橋台杭基礎2基、バイルベント橋脚(鋼製)杭基礎1基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 45′ 24.83″	橋梁ID
			経度	141° 56′ 40.8″	43.75689,141.94466	
401号橋 (フリガナ)ヨンヒャクイチゴウキョウ	4丁目路線	北海道字秩父別2057-81地先				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町役場	2020.10.12	5丁目排水路	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	主桁下面に僅かに鉄筋露出、主桁間(床版)から軽微な漏水が確認されたが、機能上の問題はない。支承に変形あるがパット型ゴム沓のため桁の傾きや転倒には発展しない。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点  終点
1971 年	8 m	6 m	
橋梁形式			
PC桁橋(その他)、逆T式橋台杭基礎2基			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 46′ 31.84″	橋梁ID
			経度	141° 56′ 32.45″	43.77551,141.94234	
402号橋 (フリガナ)ヨウヒャクニゴウキョウ	4丁目路線	北海道字秩父別2053-7地先				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町役場	2020.10.16	旧秩父別川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	下部工に剥離があるが機能上の問題はない。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2000 年	23.6 m	7.5 m
橋梁形式		
ブレン中空床版橋、逆T式橋台杭基礎2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 46' 28.16" 141° 56' 7.75"	橋梁ID
502号橋 (フリガナ)コヒャクニコウキョウ	5丁目路線	北海道字秩父別2034-7地先				43.77448,141.93548
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町役場	2019.07.16	旧秩父別川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 本野 道明

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造						
主桁	Ⅰ					
横桁						
床版	Ⅰ					
下部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工01			
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真006,地覆02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)

(所見等)

Ⅱ

橋台にひびわれ、地覆に剥離・鉄筋露出が確認されたが、進行状況に応じて監視や対策を検討するのが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2000 年	11.6 m	8 m
橋梁形式		
プレテン中空床版橋、逆T式橋台杭基礎○基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 46' 27.04" 141° 55' 38.8"	橋梁ID
602号橋 (フリガナ) ロッピャクニゴウキョウ	6丁目路線	北海道字秩父別2027-10地先				43.77417,141.92744
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町役場	2020.10.16	旧秩父別川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造						
主桁	Ⅰ					
横桁						
床版	Ⅰ					
下部構造	Ⅰ					
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	間詰め床版に遊離石灰および橋台に車両衝突による鉄筋露出が確認されたが、損傷が軽微であることから定期点検による経過観察とする。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2000 年	14.7 m	7.5 m
橋梁形式		
プレテン中空床版橋、逆T式橋台杭基礎2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 46' 15.33" 141° 54' 41.9"	橋梁ID
801号橋 (フリガナ)ハッピークイチゴウキョウ	8丁目路線	北海道字秩父別2013-1地先				43.77092,141.91163
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町役場	2019.11.06	旧秩父別川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 本野 道明

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に 記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造						
主桁	Ⅰ					
横桁						
床版	Ⅰ					
下部構造	Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真004,下部工02			
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)

(所見等)

Ⅱ

間詰め遊離石灰は軽微であり、点検による経過観察とする。橋台に浮きやひび割れがあり、進行に応じ監視や対策検討が望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1975 年	10.5 m	4 m
橋梁形式		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 44' 52.01" 141° 54' 25.65"	橋梁ID
南21号橋 (フリガナ)ミナミニジュウイチゴウキョウ	南2条路線	北海道字秩父別2007-6地先				43.74778,141.90712
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町役場	2020.10.12	集水路	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造						
主桁	Ⅲ	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁01			
横桁						
床版	Ⅰ					
下部構造	Ⅲ	ひびわれ	写真004,下部工01			
支承部	Ⅱ	支承部の機能障害	写真005,支承部101			
その他	Ⅲ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅲ	主桁下面の広範囲に鉄筋露出、パイルベント式橋台基礎杭にひびわれが確認されたが、構造上重要部位の損傷のため対策を講じるのが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1967 年	7.5 m	6 m
橋梁形式	PC桁橋(その他)、その他(橋台)2基	

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 44' 53.71" 141° 54' 51.2"	橋梁ID
南22号橋 (フリガナ)ミナミニジュウニゴウキョウ	南2条路線	北海道字秩父別2007-4地先				43.74825,141.91422
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町役場	2020.10.13	集水路	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造						
主桁	Ⅲ	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁01			
横桁						
床版	Ⅰ					
下部構造	Ⅲ	変形・欠損	写真004,下部工01			
支承部	Ⅱ	支承部の機能障害	写真005,支承部101			
その他	Ⅲ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅲ	主桁下面に鉄筋露出、パイルベント式橋台基礎杭に欠損(施工不良)が確認されたが、構造上重要部位の損傷のため早期に対策を行うのが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1967 年	7.1 m	6 m
橋梁形式	PC桁橋(その他)、その他(橋台)2基	

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 44′ 51.98″	橋梁ID
				経度	141° 55′ 22.15″	
南23号橋 (フリガナ)ミナミニジュウサンゴウキョウ	南2条路線	北海道字秩父別2023-14地先				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町役場	2019.11.05	集水路	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 本野 道明

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版	Ⅱ	漏水・遊離石灰	写真003,床版03			
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅱ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	床版の遊離石灰は、経過監視し進行により対策検討が望ましい。伸縮装置の漏水は、監視し進行に応じて対策検討するのが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1985 年	6.3 m	8 m
橋梁形式		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 45' 1.16" 141° 57' 42.55"	橋梁ID
南24号橋 (フリガナ)ミナミシユウヨウコウキョウ	南2条路線	北海道字秩父別2081-1地先				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町	2021.10.13	境川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計株式会社 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造						
主桁	Ⅱ	腐食	写真001,主桁01			
横桁	Ⅱ	腐食	写真002,対傾構01			
床版	Ⅲ	床版ひびわれ	写真003,床版01			
下部構造	Ⅲ	漏水・遊離石灰	写真004,下部工02			
支承部	Ⅲ	支承部の機能障害	写真005,支承部203			
その他	Ⅲ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅲ	鋼桁の塗装劣化が進行し、支承も全体的に腐食が進行、一部支承下面に空隙が見られる。床版には二方向ひび割れが発生している。A2橋台はひび割れや広範囲な浮き、錆汁がある。損傷進行を監視し対策を検討するのが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1972 年	38.4 m	7.5 m
橋梁形式		
単純鋼溶接 H形鋼(合成)橋×2連、逆T式橋台杭基礎2基、壁式橋脚(RC)杭基礎1基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 45' 3.83" 141° 58' 22.9"	橋梁ID
南25号橋 (フリガナ)ミナミニジュウゴゴキョウ	南2条路線	北海道秩父別町字秩父別2083-40				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2021.09.16	第1幹線用水路	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計株式会社 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	Ⅰ					
主桁						
横桁						
床版						
下部構造	Ⅰ					
支承部						
その他	Ⅱ	舗装の異常	写真006,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	健全ではあるが、防護柵の部分補修、舗装の補修を行うことが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2001 年	3.7 m	9.5 m
橋梁形式	RC溝橋(BOXカルバート)、逆T式橋台2基	

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 45' 5.06" 141° 58' 42.4"	橋梁ID
南26号橋 (フリガナ)ミナミシユウロクゴウキョウ	南2条路線	北海道字秩父別2105-8地先				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町役場	2019.11.06	秩父別桜川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 本野 道明

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造						
主桁	Ⅰ					
横桁	Ⅰ					
床版	Ⅱ	床版ひびわれ	写真003,床版02			
下部構造	Ⅰ					
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分) (所見等)

Ⅱ

2018、2019年度補修施工済み。床版に0.1mmのひび割れがあるが、漏水・遊離石灰等なく軽微なため経過観察とする。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1973 年	14.1 m	7.5 m
橋梁形式		
鋼溶接 I桁(非合成)橋、逆T式橋台杭基礎○基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 45′ 40.45″	橋梁ID
			経度	141° 57′ 29.65″	43.76123,141.95823	
11号橋 (フリガナ)ジュウイチゴウキョウ	1条路線	北海道秩父別町字秩父別2078-23				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2020.10.15	筑紫川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	漏水・遊離石灰	写真001,主桁01			
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工02			
支承部							
その他		Ⅱ	路面の凹凸	写真006,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁に漏水、下部工にひびわれ及び剥離が確認されたが、進行に応じて監視や対策を検討するのが望ましい。舗装の段差は、維持作業等により対応するのが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	
2000 年	4.4 m	8 m	
橋梁形式			
RC溝橋 (BOXカルバート)、逆T式橋台2基			

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 45′ 43.81″	橋梁ID
			経度	141° 58′ 17.7″	43.76216,141.97158	
12号橋 (フリガナ)ジュウニゴウキョウ	1条路線	北海道秩父別町字秩父別2078-23				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2021.09.16	十戸幹線用水路	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計株式会社 川森 亮輔

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅰ					
支承部							
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	健全であるが、次回点検時下部工ひび割れに注意する。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	起点  終点
2001 年	4.4 m	7 m	
橋梁形式			
RC溝橋 (BOXカルバート)、逆T式橋台2基			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 45′ 44.35″	橋梁ID
				経度	141° 58′ 25.55″	43.76231,141.97376
13号橋 (フリガナ)ジュウサンゴウキョウ	1条路線	北海道秩父別町字秩父別2102-36				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2019.11.06	桜川幹線用水路	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 本野 道明

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	ひびわれ	写真001,主桁01			
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅰ					
支承部							
その他		Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真006,地覆01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁の鉄筋露出は、監視し進行により対策検討するのがよい。下部工のひびわれは、損傷が軽微であることから経過観察とする。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1981 年	2.85 m	6 m
橋梁形式		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 45' 13.73" 141° 55' 19.7"	橋梁ID
南12号橋 (フリガナ)ミナミジュウニゴウキョウ	南1条路線	北海道秩父別町字秩父別1166-7				43.75381,141.92213
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2020.10.13	集水路	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ				
	横桁					
	床版					
下部構造	Ⅰ					
支承部						
その他	Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	下部工(側壁)にすり減りが確認されたが、損傷が軽微であることから定期点検による経過観察とする。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1977 年	3.4 m	7 m
橋梁形式		
RC溝橋(BOXカルバート)、逆T式橋台2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 45′ 20.1″	橋梁ID
				経度	141° 56′ 56.65″	
南13号橋 (フリガナ)ミナミジュウサンゴウキョウ	南1条路線	北海道字秩父別2057-86地先				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町	2019.07.19	境川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 本野 道明

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	腐食	写真001,主桁01			
	横桁	Ⅱ	防食機能の劣化	写真002,対傾構01			
	床版	Ⅱ	床版ひびわれ	写真003,床版01			
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅱ	腐食	写真005,支承部102			
その他		Ⅱ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	床版にひび割れ、鋼桁の塗膜劣化、支承の一部に板厚減少があるため、経過を監視し進行に応じ対策検討するのが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1971 年	22 m	7.5 m
橋梁形式		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 45' 22.52" 141° 57' 31.95"	橋梁ID
南14号橋 (フリガナ)ミナミジュウヨンゴウキョウ	南1条路線	北海道秩父別町字秩父別2079-29				43.75625,141.95887
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2021.09.16	筑紫川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計株式会社 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造						
主桁	Ⅰ					
横桁						
床版						
下部構造	Ⅰ					
支承部						
その他	Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	健全であるが、A1Lの取付け擁壁との隙間に注意する。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1999 年	5.56 m	7 m
橋梁形式		
RC溝橋(BOXカルバート)、逆T式橋台2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 45' 25.44" 141° 58' 20.15"	橋梁ID
南15号橋 (フリガナ)ミナミジュウゴゴウキョウ	南1条路線	北海道秩父別町字秩父別2084-32				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2020.10.13	十戸幹線用水路	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造						
主桁	Ⅰ					
横桁						
床版						
下部構造	Ⅰ					
支承部						
その他	Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)

(所見等)

Ⅰ

主桁(頂版)にひび割れ及び剥離、下部工(側壁)にすり減りが確認されたが、損傷が軽微であることから定期点検による経過観察とする。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1994 年	4.25 m	8 m
橋梁形式		
RC溝橋(BOXカルバート)、逆T式橋台2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 45′ 26.38″	橋梁ID
				経度	141° 58′ 32.95″	
南16号橋 (フリガナ)ミナミジュウロクゴウキョウ	南1条路線	北海道秩父別町字秩父別2103-17				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2020.10.13	桜川幹線用水路	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅰ					
支承部							
その他		Ⅱ	ゆるみ・脱落	写真006,高欄・防護柵01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	下部工(側壁)にすり減りが確認されたが、損傷が軽微であり経過観察とする。防護柵のボルト緩みは維持工事で対応するのがよい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1994 年	3.05 m	7.5 m
橋梁形式		
RC溝橋(BOXカルパート)、逆T式橋台2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 45' 27.18" 141° 58' 44.55"	橋梁ID
南17号橋 (フリガナ)ミナミジュウナナゴウキョウ	南1条路線	北海道字秩父別2104-26地先				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町	2020.10.13	秩父別桜川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造						
主桁	Ⅰ					
横桁						
床版	Ⅰ					
下部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工01			
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅲ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	下部工の遊離石灰は、進行に応じ監視や対策を検討するのが良い。伸縮装置は、将来的には補修を検討するのが望まれる。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1996 年	21 m	7.5 m
橋梁形式		
プレテン床版橋、逆T式橋台杭基礎2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 46′ 16.59″	橋梁ID
			経度	141° 57′ 25.2″	43.77127,141.95700	
33号橋 (フリガナ) サンジュウサンゴウキョウ	3条路線	北海道秩父別町字秩父別2076-55				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2020.10.15	筑紫川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工01			
支承部							
その他		Ⅱ	防食機能の劣化	写真006,高欄・防護柵02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	下部工(側壁)のひびわれは、PC部材のため進行状況に応じて監視や対策を検討するのがよい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2000 年	4.4 m	12.2 m
橋梁形式		
RC溝橋 (BOXカルバート)、逆T式橋台2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 46′ 20.24″	橋梁ID
			経度	141° 58′ 21.05″	43.77228,141.97251	
34号橋 (フリガナ) サンジュウヨンゴウキョウ	3条路線	北海道秩父別町字秩父別2100-22				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2021.09.15	第1幹線用水路	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計株式会社 川森 亮輔

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅰ					
支承部							
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	健全であるが、次回点検下部工すり減りに注意する。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2003 年	5.2 m	9.5 m
橋梁形式		
RC溝橋 (BOXカルバート)、逆T式橋台2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 46′ 38.06″	橋梁ID
			経度	141° 58′ 14.25″	43.77723,141.97062	
43号橋 (フリガナ)ヨンジュウサンゴウキョウ	4条路線	北海道字秩父別2100-2地先				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町役場	2019.11.05	第一幹線用水路	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 本野 道明

定期点検時に記録					応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁	Ⅰ					
	床版	Ⅰ					
下部構造		Ⅰ					
支承部		Ⅰ					
その他		Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	2017年度補修工事済みのため損傷無し。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1987 年	7.1 m	6.5 m
橋梁形式		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 46' 49.3" 141° 56' 31.15"	橋梁ID
52号橋 (フリガナ)ゴジュウニゴウキョウ	5条路線	北海道字秩父別2047-19地先				43.78036,141.94198
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町	2020.10.16	旧秩父別川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造						
主桁	Ⅰ					
横桁						
床版	Ⅰ					
下部構造	Ⅰ					
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅱ	破断	写真006,高欄・防護柵02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)

(所見等)

Ⅱ

下部工に軽微なひびわれ・欠損があるが、主構造は健全である。地覆等に軽微な損傷、防護柵に破断がある。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2001 年	15.27 m	8 m
橋梁形式		
プレテン床版橋、逆T式橋台杭基礎2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 47' 9.18" 141° 56' 53.85"	橋梁ID
62号橋 (フリガナ)ロクジュウニゴウキョウ	6条路線	北海道字秩父別2067-1地先				43.78588,141.94829
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町役場	2019.07.16	集水路	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 本野 道明

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造						
主桁	Ⅰ					
横桁						
床版	Ⅰ					
下部構造	Ⅰ					
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)

(所見等)

Ⅰ

2018年度補修工事済み。橋台のひび割れ補修箇所の一部に隙間があるが、補修材は注入されているため問題無しと判断する。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1970 年	7 m	6 m
橋梁形式		
PC桁橋(その他)、その他(橋台)○基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 47' 12.47" 141° 57' 43.95"	橋梁ID
63号橋 (フリガナ)ロクジュウサンゴウキョウ	6条路線	北海道秩父別町字秩父別2090-26				43.78679,141.96220
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2021.09.15	第1幹線用水路	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計株式会社 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ				
	横桁					
	床版					
下部構造	Ⅰ					
支承部						
その他	Ⅱ	変形・欠損	写真006,高欄・防護柵01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分) (所見等)

Ⅰ

健全であるが、防護柵は部分補修が望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1996 年	5.4 m	7.5 m
橋梁形式		
RC溝橋(BOXカルバート)、逆T式橋台2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 47' 33.65" 141° 57' 45.4"	橋梁ID
72号橋 (フリガナ)ナナジユウニコウキョウ	7条路線	北海道秩父別町字秩父別2091-25				43.79268,141.96261
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2021.09.15	第1幹線用水路	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計株式会社 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ				
	横桁					
	床版					
下部構造	Ⅰ					
支承部						
その他	Ⅱ	舗装の異常	写真006,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	健全であるが、舗装は維持管理による補修が望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1994 年	5.4 m	7.5 m
橋梁形式		
RC溝橋(BOXカルバート)、逆T式橋台2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 47' 52.08" 141° 57' 1.9"	橋梁ID
81号橋 (フリガナ)ハチジュウイチゴウキョウ	8条路線	北海道字秩父別2069-85地先				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町	2020.10.15	秩父別川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造						
主桁	Ⅱ	腐食	写真001,主桁01			
横桁	Ⅱ	腐食	写真002,対傾構02			
床版	Ⅱ	床版ひびわれ	写真003,床版02			
下部構造	Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真004,下部工01			
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅱ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分) (所見等)

Ⅱ

床版に乾燥収縮が原因と思われる二方向ひび割れあるが、非合成桁であり構造上の問題は無い。ただし、損傷進行を監視するのが良い。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1996 年	35.2 m	6.5 m
橋梁形式		
鋼溶接 I桁(非合成)橋、逆T式橋台直接基礎2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 47' 56.1" 141° 58' 3.15"	橋梁ID
82号橋 (フリガナ)ハチシュウニコウキョウ	8条路線	北海道秩父別町字2096-21				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2021.09.14	第1幹線用水路	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計株式会社 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ				
	横桁					
	床版					
下部構造	Ⅰ					
支承部						
その他	Ⅱ	路面の凹凸	写真006,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分) (所見等)

Ⅰ

健全であるが、舗装段差は維持管理による補修が望ましい。次回点検時に下部工すり減りに注意する。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1998 年	9.4 m	7 m
橋梁形式		
RC溝橋(BOXカルバート)、逆T式橋台2基、その他(橋脚)1基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 48' 22.7" 141° 58' 31.2"	橋梁ID
91号橋 (フリガナ)キョウシュウイチゴウキョウ	滝の上路線	北海道秩父別町字滝の上41-3				43.80630,141.97533
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2020.10.14	9条放水路	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	Ⅱ	漏水・遊離石灰	写真001,主桁01			
主桁						
横桁						
床版						
下部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工01			
支承部						
その他	Ⅱ	路面の凹凸	写真006,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁(頂版)打ち継ぎ部に錆汁混じり遊離石灰が確認され、下部工(側壁)にひび割れが確認された。機能上に問題が無いが、進行を監視するのが良い。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1979 年	3.6 m	6.5 m
橋梁形式		
RC溝橋(BOXカルバート)、逆T式橋台2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 45' 55.99" 141° 59' 10.75"	橋梁ID
1号橋 (フリガナ)イチゴウキョウ	南山路線	北海道字中山109-1080地先				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町役場	2019.07.16	秩父別桜川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 本野 道明

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造						
主桁	Ⅰ					
横桁						
床版	Ⅰ					
下部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工02			
支承部	Ⅱ	支承部の機能障害	写真005,支承部101			
その他	Ⅱ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)

(所見等)

Ⅱ

下部工のひびわれ・剥離および伸縮装置、防護柵等は、将来的には部材交換等の補修検討をするのが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1976 年	5.3 m	5.5 m
橋梁形式		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 47' 37.7" 141° 59' 41.4"	橋梁ID
6号橋 (フリガナ)ロコウキョウ	中山北路線	北海道字秩父別2119-29地先				43.79380,141.99483
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町役場	2021.09.10	秩父別川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計株式会社 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁01		
	横桁					
	床版	Ⅲ	漏水・遊離石灰	写真003,床版02		
下部構造	Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真004,下部工02			
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅲ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分) (所見等)

Ⅲ 間詰め床版に錆汁混じり遊離石灰、主桁(G1)とA2橋台は鉄筋露出、伸縮装置の漏水が見られる。損傷進行を監視し対策を検討するのが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1979 年	19.8 m	5 m
橋梁形式		
プレテン中空床版橋、半重力式橋台直接基礎2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 47' 36.76" 141° 59' 5.35"	橋梁ID
3号橋 (フリガナ)サンゴウキョウ	東山路線	北海道字秩父別2115-37地先				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町役場	2021.09.14	秩父別川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計株式会社 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造						
主桁	Ⅰ					
横桁						
床版	Ⅲ	漏水・遊離石灰	写真003,床版01			
下部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工01			
支承部	Ⅰ					
その他	Ⅲ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅲ	間詰め床版から錆汁混じり遊離石灰、橋台に遊離石灰を伴うひび割れ、伸縮装置から漏水が確認された。損傷を監視し補修を検討するのが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1987 年	19.6 m	6.5 m
橋梁形式		
プレテン中空床版橋、逆T式橋台直接基礎2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 48' 34.41" 141° 59' 36.6"	橋梁ID
8号橋 (フリガナ)ハチゴウキョウ	東山路線	北海道字滝の上21-1地先				43.80955,141.99350
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町役場	2019.11.05	第一幹線用水路	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 本野 道明

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に 記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	Ⅱ	うき・剥離・鉄筋露出	写真001,主桁11			
主桁						
横桁						
床版	Ⅱ	漏水・遊離石灰	写真003,床版01			
下部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工01			
支承部	Ⅱ	支承部の機能障害	写真005,支承部201			
その他	Ⅲ	漏水・滞水	写真006,伸縮装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	伸縮装置の漏水は、進行に応じて監視や対策検討が望ましい。その他の損傷についても、進行に応じて対策を検討するのが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1979 年	13.5 m	4 m
橋梁形式		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 45' 55.66" 141° 57' 27.7"	橋梁ID
9号橋 (フリガナ)キュウゴウキョウ	市街12号路線	北海道秩父別町字秩父別1874-80				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2020.10.15	筑紫川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ				
	横桁					
	床版					
下部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工01			
支承部						
その他	Ⅰ					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分) (所見等)

Ⅱ

下部工(側壁)のひびわれは、PC部材のため進行に応じて監視や対策を検討するのが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2000 年	4.4 m	6 m
橋梁形式		
RC溝橋(BOXカルバート)、逆T式橋台2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 46' 10.34" 141° 57' 25.95"	橋梁ID
2号橋 (フリガナ)ニゴウキョウ	市街14号路線	北海道秩父別町字秩父別1527-24				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2020.10.15	筑紫川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真001,主桁01			
主桁						
横桁						
床版						
下部構造	Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工01			
支承部						
その他	Ⅱ	路面の凹凸	写真006,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁(頂版)・下部工(側壁)のひびわれは、PC部材のため進行に応じて監視や対策を検討するのが望ましい。舗装は維持工事で対応するのが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2000 年	4.4 m	6.8 m
橋梁形式	RC溝橋(BOXカルバート)、逆T式橋台2基	

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 47' 55.7" 141° 58' 2.7"	橋梁ID
東103号橋 (フリガナ)ヒガシハクサンゴウキョウ	東1丁目路線	北海道字秩父別2091-5地先				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町役場	2021.09.14	第一幹線用水路	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計株式会社 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ				
	横桁					
	床版					
下部構造	Ⅰ					
支承部						
その他	Ⅱ	路面の凹凸	写真006,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	健全であるが、舗装の段差・ひび割れは維持管理による補修が望ましい。次回点検時に下部工剥離(すり減り)に注意する。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1998 年	9.4 m	11.8 m
橋梁形式		
RC溝橋(BOXカルバート)、逆T式橋台2基、その他(橋脚)1基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 46′ 2.46″	橋梁ID
				経度	141° 58′ 26.5″	43.76735,141.97402
21号橋 (フリガナ)ニジュウイチゴウキョウ	2条路線	北海道秩父別町字秩父別2101-61				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町	2020.10.12	大聖川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録					応急措置後に記録	
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容
上部構造	主桁	Ⅱ	ひびわれ	写真001,主桁01		
	横桁					
	床版					
下部構造		Ⅱ	ひびわれ	写真004,下部工01		
支承部						
その他		Ⅱ	舗装の異常	写真006,舗装01		

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	主桁(頂版)にひびわれ、下部工(側壁)に遊離石灰が確認されたが、進行に応じて監視や対策を検討するのが望ましい。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
2003 年	4.3 m	12 m
橋梁形式		
RC溝橋 (BOXカルバート)、逆T式橋台2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	43° 45' 44.6'' 141° 58' 58.75''	橋梁ID
日の出橋 (フリガナ)ヒノデハシ	日の出路線	北海道字秩父別2103-70地先				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道秩父別町秩父別町役場	2020.10.15	秩父別桜川	有	一般道		

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

ダイシン設計(株) 川森 亮輔

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ				
	横桁	Ⅰ				
	床版	Ⅰ				
下部構造	Ⅰ					
支承部	Ⅱ	腐食	写真005,支承部104			
その他	Ⅱ	腐食	写真006,排水装置01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅱ	床版および下部工橋台に乾燥収縮によるひび割れがわずかに確認されたが、構造上に問題がなく損傷が軽微なため、経過観察とする。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1996 年	21 m	7.5 m
橋梁形式		
鋼溶接 I 桁(非合成)橋、逆 T 式橋台直接基礎 2 基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	43° 48′ 32.3″	
				経度	141° 57′ 54.8″	
穂栄橋 (フリガナ)ホエイバシ	町道高穂中央線	北海道雨竜郡沼田町字高穂101-147地先				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
北海道沼田町	2017.9.5	雨竜川	有	一般道	その他	

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	(株)道測テクニス	点検責任者	川口 昇
点検時に記録				措置後に記録			
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	Ⅱ	腐食	写真001,主桁92			
	横桁	Ⅱ	腐食	写真002,横桁02			
	床版	Ⅲ	漏水・遊離石灰	写真003,床版01			
下部構造		Ⅲ	ひびわれ	写真004,下部工02			
支承部		Ⅱ	支承部の機能障害	写真005,支承部202			
その他		Ⅲ	舗装の異常	写真006,舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)				措置後に記録	
点検時に記録					
(判定区分)	(所見等)			(再判定区分)	(再判定実施年月日)
Ⅱ	床板に遊離石灰を伴うひびわれが見られる。 ひびわれ補修、橋面防水等の対策実施が望ましい。				

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	
2005年	189m	11.25m	
起点			
終点			

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。